

# 第13回「人文知」コレギウム



2019年7月31日（水）13:30-15:30  
富山大学人文学部3階第6講義室

## マルチモーダル・ミュージッキング

——米国黒人教会における音楽する身体

野澤豊一（文化人類学・准教授）13:30～14:30

米国黒人教会の音楽文化は20世紀大衆音楽の源流の一つとして知られているが、実際にフィールドワークをしてみると、礼拝儀礼のなかで「音楽」が上演される場面は比較的少ないことがわかる。その一方で、礼拝儀礼に生気をもたらすために音楽は欠かせない。こうした状況を理解するために、本発表では「ミュージッキング」という概念を使ったアプローチを紹介する。

## 「人間の安全保障」から見たヒトの移動

——中米の場合

竹村 卓（国際関係論・教授）14:30～15:30

2018年10月「キャラバン」と呼ばれる人々が、中米Central Americaから主に徒歩で米国を目指し、瞬く間に数万人の規模となって米国とメキシコの国境に迫った。同年4月から中米のコスタリカには、隣国のニカラグアから数万人以上の人々が国内の混乱を逃れて押し寄せている。この中米をめぐる「ヒトの移動」を、「人間の安全保障」の観点から、考えてみる。